

レーシングドライバー。

ひとくちにレースをする・・と言っても、その関り方は各人異なる。  
趣味で出場する人もいれば、プロを目指してステップアップを目論む  
ヒトもいる。

趣味で参戦するヒトは、自分が気持ち良く走れて、楽しくレースできれば  
まあ、良し。ってトコロか。

しかし、上を目指そうとするヒトにとっては、ワンシーズン・・はおろか  
出場する一戦一戦がまさに正念場。  
練習走行も、その1 LAPを意味のある走行に出来なければ、高額なコストが  
結局砂塵に化してしまう。

超有名レーシングドライバーを叔父に持つという、H氏。  
本人自らも、四輪でこそないものの、オートバイレースに参戦していた、らしい。  
ハナシでは、スポンサーも付いて走っていた・・、というから、かなり本気で  
レース活動をしていた、ということなのだろう。

そのH氏から、第64回「レーサーになれないオトコ」の内容に絡めたメールをもらった。

文面がとても興味深く、また、レーサーの側から見た意見だけに、生々しい  
表現であり、ポイントを突いた鋭い指摘だったので、是非紹介したい。  
以下、メールより抜粋。

俺のレーサーに対する考えは次みたいなことだな。

- ① 抜かれて悔しくない奴は辞めろ
- ② 怖いと思ってアクセル開けられないならそのバイク(車)は乗れない
- ③ 転んだり、クラッシュした原因が分からない奴はダメだ
- ④ 走行のたびに目的をもって練習すること
- ⑤ 生活のほぼ常にレースのことを考える
- ⑥ 絶対にいつか勝てると思える気持ち。具体的なライバルは必須！！
- ⑦ レースのお金をケチって他のものが豪華な奴、借金しても後悔しない体制をつくること
- ⑧ 一人でレースは絶対できない、ヘルパー、スポンサーへの感謝の気持ちは忘れない。
- ⑨ 満足したところで、レースは終了、逆に言えば、向上心が尽きたときに辞めるとき
- ⑩ プロになるのか、アマでやるのか決断の 때가絶対にやってくる。  
体制も含めて全力でやれなければレースを続ける意味が無い。

俺は、上記の多くがミートしたので本気レースをやめました。  
でも、本気でやったときがあるから、自信をもっていえるよ。  
たとえ自己満足といわれようが、それがレースだとおもってるから。  
今はレースできないけど、また違う形でレースはやりたいよ。  
そのときは、上に書いている気持ちでない別の形が見えてこな  
いとだめなんだろうけど。きっとそのときがまた来ると信じてるんだ。

最後に、全開、根性、ねじ伏せる、いい言葉だよ。  
そんな気持ちもないライダー、ドライバーは所詮お遊びレースだよ。

うむ、何ともアツイ人である。

①～⑩の全てが、確かに納得できる内容だ。  
個人的には、特に、②には激しく同意する。

例え、それが思い込みであるにせよ、感覚的にマシンを掌握できていなくてはコントロールするのは難しい。  
逆説的ではあるが、そういった一体感を得るための手段が、一連のセッティング作業とも言い替えられるのかもしれない。

それにしても、なかなか手厳しい意見では、ある。

そして、この人もまた「キミも本気レースやれば？」と、悪魔の誘いを囁くのである。  
現実問題として、今すぐ・・・ってのは不可能だ。今はまだ、レース屋でいたいから。  
やりたいこと、知りたいことが、まだまだある。

けれど、歳をとって、じじいになってから、若いのに混じってレースするのも悪くない。  
それに、その辺の若いのに負ける気もしない。  
そして、私自身、何年経っても、意外と歳をとらないような気がする。アホだからな。

生涯、少年。  
そんな心意気が好きだ。  
そんな生き方が好きだ。

(11May04)

